

受 付 番 号	2026-17		
許 可 番 号	大歯医倫 第 111462 号		
研究課題名	乳歯歯種別の乳歯感染根管治療が後続永久歯の萌出方向異常へ及ぼす影響について		
研究責任者	西浦 亜紀	申 請 者	門馬 祐子
研究終了日	2027 年 3 月 31 日		
所 属	歯科矯正学講座	所 属	歯科矯正学講座
職 名	主任教授	職 名	講師（非常勤）
申請の概要			

本研究は、乳歯感染根管治療が後続永久歯の萌出方向異常に与える影響について検討し、その関連性を明らかにすることを目的とする。本研究により、乳歯感染根管治療後における後継永久歯の萌出方向異常の発生傾向を歯種別に明らかにできると考えられる。これにより、永久歯萌出方向異常のリスクが高い歯種を把握し、保隙処置を併用した適切な抜歯時期の検討など、後継永久歯への影響を最小限に抑えるための臨床的判断に役立つ可能性がある。さらに、適切な感染根管治療および定期的経過観察の重要性を示すことで、小児期からの咬合育成および口腔機能管理への貢献が期待される。